

## 採 択 の 基 準

中学校学習指導要領に示されている特別の教科 道徳の目標を十分達成できるものであり、地域の実態や課題を踏まえた以下の基準にする。

ア 中学校学習指導要領に示されている「特別の教科 道徳」の目標を十分達成できるよう教材の内容等が充実しており、道徳性を養うための指導の充実につながるものであること。

イ 指導者及び生徒にとって、使用上の利便性があるとともに、生徒の発達段階等を考慮し、生徒にとって分かりやすいものであること。

ウ 地域の実情等を考慮すること。

## 調 査 研 究 の 観 点

項 目	観 点
1 道徳の目標の達成及び道徳性を養う指導を行うための内容の充実	1－(1) 多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。 <span style="float: right;">基準ア</span>
	1－(2) 身近な社会問題等に関する題材を取り上げ、生徒が問題意識をもって自分との関わりでより深く考えられるために、どのような工夫が見られるか。 <span style="float: right;">基準ア</span>
2 利便性の向上	2 生徒にとって使いやすさや分かりやすさの視点から、どのような工夫が見られるか。 <span style="float: right;">基準イ</span>
3 地域の実情等への配慮	3 地域の課題や伝統文化等に目を向けるためにどのような工夫が見られるか。 <span style="float: right;">基準ウ</span>

1 道徳の目標の達成及び道徳性を養う指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕 多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「つぶやき」コーナーを設けることで、自分の意見を表出させ、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、新聞の社説や投書欄を教材として取り上げたり、ACTION!コーナーによる役割演技を設けたりすることで、幅広く課題を見つけることができ、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、1つの内容項目を3学年で系統的に配置し、学年を追ってより深く考えられるようにしており、自由な発想を引き出すことができる題材を設けることで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「学びの記録」コーナーを設けることで、自分や友達の意見を整理させ、そこから考えを深めることができるよう言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、「学びに向かうために」コーナーを設けることで、自己を見つめ、意見交換をするなど、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、「心の扉」コーナーを設けることで、身近なことを問いに自分を振り返らせるようにしており、道徳的価値についてさらに自分の事として捉えさせることで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「学びの道しるべ」コーナーを設けることで、様々な角度から意見を表出させ、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、「やってみよう」コーナーを設けることで、役割演技をしたり、日々の体験を想起して話し合いを行ったりするなど、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、1つの内容項目を様々な側面から考えさせるようにしており、道徳的価値について、直接的・間接的にアプローチし考えさせたりすることで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「私の気づき」コーナーを設けることで、感じたことや気づきを書き記すなど、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、「人と人との関係づくり」コーナーを設けることで、自分の言動を振り返り、課題を見つけることができるようになるなど、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、教材をユニット化し、教材を内容項目に応じて関連づけており、1時間の学びが単独ではなく有機的に結びつくよう配慮することで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「道徳ノート」を併用することで、自分の意見を表出させ、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、特設ページ「学習の進め方」コーナーを設けることで、役割演技や動作化などの体験をさせ、そこから学んだことを友達と交流するなど、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、「コラム」や「プラットフォーム」を掲載することで、よりよい生き方を考えさせるようにしており、道徳科以外の教育活動とも関連付けて考えさせることで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「深めよう」「クローズアップ」を設けることで、主体的に考えを広げさせ、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、導入であえて主題名を提示しなかったり、異なる視点から更に視野を広げたりできる設問を示すことで、特定の価値観を押し付けることなく考えられるなど、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、異なる複数の意見の提示や関連情報を提示することで、より深く考えさせるようにしており、同じテーマを異なる視点や内容項目から考えさせたりすることで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>

<p>232 廣あかつき</p>	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「道徳ノート」を併用することで、自分の気づきや考えを表出させ、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、「考える・話し合う」コーナーを設けることで、複数の問いから自分との関わりで考えたり、自己の体験を想起したりするなど、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、教材と関連し学びを深める特集「<b>thinking</b>」を設け、道徳的諸価値についての更なる理解を促しており、人間としての生き方について考えを深めさせることで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>
<p>233 日科</p>	<p>(1) 生徒が多面的・多角的に考えることができるような充実した学習活動を展開するために、「書く」「話す」「考える」コーナーを設けることで、自分の意見を表出し、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。また、生徒同士で議論することができるような発問の具体例が示してあることで、より深く考えることができ、自分とは異なる見方・考え方の違いに気づかせられるような体験的な学習を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が感動を覚えるような充実した学習活動を展開するために、「考え話し合ってみよう そして、深めよう」コーナーを設けることで、今の自分に気づかせるようにしており、主人公の成長とともに悩みや葛藤を共有することで、ものの見方や考えを深めることができるような工夫が見られる。</p>

1 道徳の目標の達成及び道徳性を養う指導を行うための内容の充実

[観点 1-(2)] 身近な社会問題等に関する題材を取り上げ、生徒が問題意識をもって自分との関わりでより深く考えられるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 情報モラルについて、SNS におけるトラブルを舞台に起こった出来事や社会問題を取り上げ、新聞記事や写真等を通して、よりよい社会の実現について考えさせたり、友情を育むために大切なことは何か考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、3つの教材をまとめたユニット構成を通して、いじめめる人・いじめられる人・観衆・傍観者の立場を捉えさせ、差別や偏見・いじめがなくなるためにはどうすればよいのかについて考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>
11 学 図	<p>(1) 情報モラルについて、ブログやホームページの書き込みを取り上げ、対人関係の在り方や使い方を通して、いじめに発展する事があることを考えさせたり、防災教育について事例をあげて考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、学校生活の中で陥りやすい場面を通して、いじめや差別・偏見など相手の立場や自分の行動について捉えさせ、同調圧力に流されない正義を通すためには、どうあればよいか考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 情報モラルについて、ネット依存や SNS の問題を取り上げ、知らない人とつながることの危険性を通して、よりよい人間関係の築き方について考えさせたり、主体的に行動するにはどうすればよいか考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、教室や実社会を通して、矛盾や問題を捉えさせ、いじめはなぜ起こるのか、「いじり」と「いじめ」の違いは何かを考えさせ、障がい者に対する差別について考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>

38 光 村	<p>(1) 情報モラルについて、ネット依存や著作権の問題を取り上げ、具体的な解決策や情報モラルの在り方を通して、ネット依存について考えさせたり、自分の言動に責任をもつことの大切さを考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、いじめる立場、いじめられる立場、傍観者の立場を通して、いじめをしない、させない、見過ごさないためにできることは何かを捉えさせ、真の思いやりとはどういうものなのかについて考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>
116 日 文	<p>(1) 情報モラルについて、SNS への書き込みを取り上げ、教材とコラムを一緒に使用し、役割演技を通して、相手の気持ちを考えさせたり、自他の権利や法の遵守について考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、生徒が共感しやすい身近な教材やコラムを通して、いじめ防止の内容を集中的に捉えさせ、自分の感情とうまく付き合うためにはどうしたらよいかについて考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>
224 学 研	<p>(1) 情報モラルについて、日常生活で直面する事例を取り上げ、新聞記事やデータ、「クローズアップ」を通して、スマートフォン使用上の問題点を考えさせたり、福祉や被災地支援についてより深く考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、学級での出来事を通して、差別や偏見のない社会を実現するためにはどうすれば良いか捉えさせ、思いやりの心を持って人と接するためには、どのような行動をとればよいかについて考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>
232 廣あかつ き	<p>(1) 情報モラルについて、SNS に写真や言葉を投稿する際の諸問題を取り上げ、コミュニケーションの在り方を通して、受信・発信の利点と危険性を考えさせたり、時と場に応じた適切な礼儀を考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、現実起きた事件の新聞記事や同年代の筆者の文章を通して、いじめの卑怯さ犯罪の卑劣さを捉えさせ、いじめのない学級や社会正義を実現するためには何が大切かについて考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>

233 日 科	<p>(1) 情報モラルについて、日常生活における身近な話題を取り上げ、SNS のやりとりを通して、心の弱さを考えさせたり、障害者差別や防災教育という問題から正義や社会のあり方などを考えさせたりするなど、自分の生活と結びつけて考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) いじめ問題について、「友情・信頼」に関する教材を通して、いじめの問題を正面から捉えさせ、いじめや不正に負けることなく、決して許さない社会を実現するためにはどうすべきかについて考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えられるよう工夫している。</p>
---------	---

## 2 利便性の向上

〔観点 2〕 生徒にとって使いやすさや分かりやすさの視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 巻頭で、話し合いを活性化させるための話し合いの手引や司会カードなどを掲載し、巻末にホワイトボード用紙や切り取り式の自己評価用紙を収録することで、生徒が主体的に話し合い活動を行い、客観的に自己を振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「考えてみよう」で、考え、議論し、問題を解決する学習の流れを示し、教材ごとに自分の考えを書く「つぶやき」コーナーを設けることで、生徒が見通しをもって学習に取り組み、学びを視覚的に振り返ることができるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 巻頭で、良好な学級集団の構築を狙った学級づくりのためのグループワークを掲載し、学期ごとに「学びの記録」を書かせる欄を設けることで、生徒が対話の意義や仕方を理解し、視覚的に自分の成長を振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「学びに向かうために」で、何について考え、意見交換をしていけばよいのかを示し、自分の考えを書かせ、深めさせるための「心の扉」を設けることで、生徒が学習に見通しをもち、議論を通して考えを深めていくことができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 巻頭で、道徳で学ぶ内容や話し合いの大切さを示し、巻末に、都道府県にゆかりのある人物とその言葉を掲載し、教材ごとに「心のかがやき度」を自己評価する欄を設けることで、生徒が生き方のヒントを得て、自らの心の有り様を視覚的に捉えられるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各教材の導入の文で、何について考えていくのかを明確化し、「学びの道しるべ」で示された流れに沿って対話的な学びを深めていくことで、生徒が見通しをもって学習に取り組み、対話を通して考えを深めていくことができるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 巻頭で、自己や他者との対話の大切さを示し、巻末の「どうして『道徳』を学んだらう？」で、心のありようを皆で考えさせることの意味を示すことで、生徒が道徳の学習の意義や目的を常に振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「学びのテーマ」で「考える観点」「見方を変えて」「つなげよう」などの学習の流れを示し、自分の考えを毎時間記入する「私の気づき」の欄を設けることで、生徒が学び方を具体的に理解し、自らの気づきを視覚的に振り返ることができるような工夫が見られる。</p>



116 日 文	<p>(1) 巻頭で、学年の大テーマをそれぞれ示し、「道徳科で学ぶこと」で、道徳科の学習の意義を明確にし、「道徳科での学び方」で、議論を通して学びを深めることの大切さを示すことで、生徒が道徳をなぜ、どのように学ぶのかを常に意識できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「考えてみよう」や「自分に+1」で、思考のポイントを明確にし、教材ごとに構成された別冊の道徳ノートに、自分の考えや友達の意見、自分への振り返りを書かせることで、生徒が自己の心の成長を視覚的に振り返ることができるような工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 巻頭で、話し合い、磨き合いの大切さを伝えるとともに、「マイプロフィール」で、自分を見つめさせ、巻末の「心の四季」や「未来への扉」で、学びを振り返らせることで、生徒が心を磨くことの大切さを常に実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各教材の最後で、生徒に考えさせる上で中心となる問題の一つを示し、「クローズアップ」や「深めよう」で、自己を振り返らせたり、より深く物事を考えさせたりすることで、生徒が自分の考えを広げ、深めることができるような工夫が見られる。</p>
232 廣あかつ き	<p>(1) 巻頭で、話し合い、書くことを通して考えを深めることの大切さを伝え、別冊ノートの巻末で、授業や自身の自己評価を数値化して記入する欄を設けることで、生徒が自分の考えの深まりを視覚的に捉えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「考える・話し合う」で、学習の手がかりや考えを広げ、深めるための設問を示し、学習指導要領の22項目順に配列した道徳ノートを活用させることで、生徒が書くことを通して主体的に学習に取り組み、学習の足跡を視覚的に振り返ることができるような工夫が見られる。</p>
233 日 科	<p>(1) 巻頭で、道徳科の学習の意義を分かりやすく示し、巻末の道徳の時間や心の成長の振り返りを行う欄で、自分のレベルを数値化して自己評価させることで、生徒が自らの心の変化や成長を視覚的に捉えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「考え、話し合ってみよう」として、深めよう」で、考える視点を示し、「もっと知りたい」や「話してみよう」で、自分の考えを書かせ、議論させることで、生徒が見通しをもって学習に取り組み、広い視野で物事を考えていくことができるような工夫が見られる。</p>

### 3 地域の実情等への配慮

〔観点3〕 地域の課題や伝統文化等に目を向けるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「節度、節制」にコミュニケーション活動題材等の付属があり、自己の言動を制御するのに役立つようなような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、郷土の発展を支えた人物や伝統、文化を取り上げ、自他の地域の特徴を考えるきっかけとなるように工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「社会参画」等に役割や責任を果たすことの大切さが分かる題材が掲載してあり、日常を振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、歴史的建造物や代表的な産業等を取り上げ、文化の継承者としての自覚が高まるような工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「強い意志」や「社会参画」に関する題材が複数設けてあり、自分自身の行動や考え方を見直すことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、各分野で活躍する郷土の人物を取り上げ、郷土の発展に寄与する態度を養うことができるように工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「社会参画」等にコラム「人と人との関係づくり」が設けてあり、体験的な学習で人間関係を築けるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、有名な工芸品やお祭りを取り上げ、その独自性を理解し、継承に努めることの大切さがわかるような工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「強い意志」に本県出身の人物を取り上げ、自己の向上を目指して粘り強く努力する大切さが分かるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、郷土芸能や郷土に尽くした先人の生き方を取り上げ、郷土に貢献しようとする態度を養うことができるように工夫がなされている。</p>
224 学 研	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「強い意志」や「向上心」等に今を生きる人物を取り上げ、自己の可能性を伸ばすための努力の尊さが分かるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、様々な地域に関連した題材を取り上げ、それぞれのねらいに迫りながら郷土を見つめることができるように工夫がなされている。</p>

232 廣あかつき	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「強い意志」や「向上心」等に著名な人物の実話を取り上げ、身近に感じさせながら心に訴えかけていくような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、日本人としての自覚を促す内容を取り上げ、社会の平和と発展に貢献する態度を養うことができるように工夫がなされている。</p>
233 日 科	<p>(1) 地域の課題に目を向けることについては、「向上心」や「強い意志」に多くの題材が掲載してあり、著名な人物の弱さ等を知りながら理解が深まるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 郷土に目を向けることについては、生命の尊さを考えさせる 題材を取り上げ、家族愛や周囲の命に感謝する態度を養うことができるように工夫がなされている。</p>